

## 地域の拠点

ICRIでは、世界のサンゴ礁の現状を把握して広く紹介するために、「地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク(GCRMN)」を立ち上げました。GCRMNでは、地域ごとの取り組みを進めています。

環境省は、GCRMNの北東アジアの地域拠点として、沖縄県石垣島に「国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター」を設立しました。また、パラオ共和国は、日本の協力を得て、ミクロネシア地域の拠点として「パラオ国際サンゴ礁センター」を設立しました。これらのセンターを中心にして、地域のモニタリング活動などが進められています。



国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター  
International Coral Reef Research and Monitoring Center  
〒907-0011  
沖縄県石垣市八島町2-27  
>>> <http://www.coremoc.go.jp/>



パラオ国際サンゴ礁センター  
Palau International Coral Reef Center  
P.O. Box 7086  
Koror, PW 96940, Republic of Palau  
>>> <http://www.picrc.org/>



テーブルサンゴ(石西礁湖)

## ICRIについての詳しい情報は >>>

ICRI公式ホームページ(ICRI Forum) :

>>> <http://www.icriforum.org/>

ICRI日本語ホームページ:

>>> <http://www.coremoc.go.jp/>

## お問い合わせ >>>

環境省自然環境局自然環境計画課

〒100-8975

東京都千代田区霞が関1-2-2

中央合同庁舎5号館

TEL: 03-5521-8272 FAX: 03-3591-3228

E-mail: [coral@env.go.jp](mailto:coral@env.go.jp)

Office of Environmental Response and Coordination

P.O.Box 7086

Koror, PW 96940

Republic of Palau

TEL: +(680) 433-6950 FAX: +(680) 488-8638

E-mail: [dorrukem@palau-oerc.net](mailto:dorrukem@palau-oerc.net)

国際サンゴ礁イニシアティブ  
日本・パラオ共同事務局

ICRI

International Coral Reef Initiative

世界のサンゴ礁をまもる  
～日本とパラオの取り組み～



環境省



OERC



枝サンゴとスズメダイの群(パラオ)

## 世界のサンゴ礁は今……

熱帯や亜熱帯の海では、色とりどりのサンゴや魚たちがすむ「サンゴ礁」を見ることができます。日本でも、沖縄や奄美などの南の海に広く分布しています。

サンゴ礁は、たくさんの生物のすみかであるだけでなく、漁業、観光、海岸の防災など、私たちに様々な恵みをもたらしてくれています。そのため、サンゴ礁が健全であることは、私たちにとってとても重要なことなのです。

ところが、近年、高水温の影響によるサンゴの白化、オニヒトデなどサンゴを食べる動物の大発生、陸上からの土砂や排水の流入などによって、サンゴ礁の状態は世界各地で悪化しています。

## サンゴ礁保全の国際的枠組み—ICRI

このような状況を受けて、「サンゴ礁と関連生態系(マングローブ林や海藻場など)の世界的な衰退に歯止めをかけ、健全な状態に回復させること」を目的に、日本を含む8ヶ国が、1994年に国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)を設立しました。

ICRIは、サンゴ礁と関連生態系を保全しようとする各国の政府、国際機関、非政府組織(NGO)などの関係者が、対等な立場で話し合い協力することができる国際的枠組みです(2005年7月現在約80の国・機関が参加)。特に、総合的な沿岸管理、保全・管理の能力の向上、研究とモニタリング、活動の評価、の四つの点に活動の重点を置いて取り組んでいます。

## 日本とパラオによるICRI事務局

ICRIでは、毎年総会を開催して、サンゴ礁を保全していく上での問題や方向性について話し合っています。そして、参加国や参加機関は、総会で決まったことにしたがって、それぞれの立場で実際の保全活動を行っています。

ICRIは、参加国が持ち回りで担当する事務局によって主に運営されていて、これまで、アメリカ、オーストラリア、フランス、スウェーデンとフィリピン(共同)、イギリスとセيشェル(共同)が事務局を運営してきました。

そして、2005年7月から2年間の事務局を、日本とパラオ共和国が共同で担当しています。

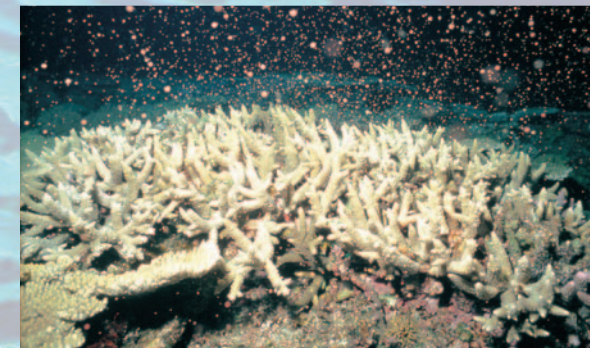
日本とパラオが共同でICRIの事務局を運営することによって、ICRIの目的である、健全なサンゴ礁の回復に向けて、世界、とりわけアジア・太平洋地域での取り組みと協力が進むことが期待されています。



## 事務局期間の主要な行事

- 2005年11月 ICRI総会(パラオ)
- 2006年10月頃 ICRI総会(メキシコ予定)
- 〃 ITMEMS\*(メキシコ予定)
- 2007年5月頃 ICRI総会(場所未定)

\* ITMEMS(国際熱帯海洋生態系管理シンポジウム):世界中のサンゴ礁と関連する生態系の管理者が集い、お互いの経験や教訓を共有して今後の方向性について議論する、ICRI主催のシンポジウムです。



サンゴの産卵(慶良間諸島)

